うまれる。あふれだす。

清流の国ぎふ芸術祭

第3回 ぎふ美術展

GIFU ART EXHIBITION

日本画/洋画/彫刻/工芸/書/写真/自由表現

会期=2021年8月7日(土)〜22日(日)

時間=10:00〜18:00　休館日=8月10日(火)・16日(月)

※8月7日(土)は14:00開場、8月20日(金)は20:00まで、最終日は14:30まで

岐阜県美術館　岐阜市宇佐4-1-22　入場無料　www.gifu-art.jp

審査員　日本画:**田渕俊夫・野地耕一郎**　洋画:**遠藤彰子・笠井誠一**
彫刻:**武田厚・三沢厚彦**　工芸:**隠崎隆一・三輪嘉六**　書:**黒田賢一・富田淳**
写真:**伊藤俊治・野村佐紀子**　自由表現:**小山登美夫・ひびのこづえ**

主催　岐阜県・岐阜県美術館、(公財)岐阜県教育文化財団

うまれる。あふれだす。

beyond 2020

TOKYO 2020 Support Programme

日本画

第3回ぎふ美術展の審査をしてみて、初めの印象は小品が多いが一生懸命描いているなということでした。審査が進むに従い夫々の作品が良く見えてくるのが楽しかったです。その中でぎふ美術展賞になった山元麻衣さんの作品には今までにない日本画の新しい表現を求める姿に感心しました。優秀賞の升野琴絵さんはモノクロームに近いぎりぎりの色調の中に人物を浮かび上がらせて美しく表現されており、又同じ優秀賞の佐藤正子さんの作品には難しい日本画技法の可能性を求めて色々試みている姿勢に好感を感じました。奨励賞の白木あやめさんの作品には風景を一度分解して再構成する表現に新鮮さを感じ、福田公美さんの作品には技術的にむずかしい日本画絵具を美しく表現しているし、林美都子さんの作品には平面的な表現に日本画の可能性を感じました。特に所久美子さんの作品には難しい水の表現を自分なりに表現した姿勢に好感をもちました。

日本画家・文化功労者・日本美術院理事長・東京藝術大学名誉教授　**田渕　俊夫**

日本画とは何か?日本画とはどのような絵画なのか?それを一言で言うことはかなり難しい。材質は定常としているが、モチーフや主題は時代によって大きく変わってきたし、変わらざるを得ない運命をもっている。そんな「日本画」を牽引しつづけた高山辰雄氏は、「日本画は、時間を描く絵画なのです」と話された。「長い時間を憶い出すことが、私の日本画です」とも。

今回受賞作となった3点ともが、各各の作者にとっての記憶と、それを廻る生きた時間を主題にした作品だと知るにつけ、得心した次第です。3作とも画面の構成力、表現法に優れ甲乙つけ難く、順位をつけられないと思いました。そんな中で「The connection is lost」は、地塗りと図の関係性に新たな造形への焔を少しだけ強く感じました。白描画ともいえそうな古様な佇まいも好ましいし、風景ではなく「山水」を想起させるところに、日本画の絵画としての希望があるように思います。

泉屋博古館東京館長　**野地　耕一郎**

ぎふ美術展賞	The connection is lost	山元麻衣	揖斐川町
優秀賞	幻想と幻覚	佐藤正子	岐阜市
優秀賞	迎	升野琴絵	岐阜市
奨励賞	輪廻	福田公美	岐阜市
奨励賞	全力！	所久美子	関市
奨励賞	Revolution	林美都子	美濃加茂市
奨励賞	かそけし奏べ	白木あやめ	各務原市
入選	さみだるる	伊藤睦美	岐阜市
入選	花言葉は「感謝」	奥田眞弓	岐阜市
入選	白椿	長田麻友子	岐阜市
入選	コロナ禍、我慢の時	川地勲子	岐阜市
入選	干支つくし	木村久美	岐阜市
入選	組む	田中まさこ	岐阜市
入選	いざなう	NAOMI HIGUCHI	岐阜市
入選	ミミズク	子池知里	大垣市
入選	冬支度	杉原秀氏	大垣市
入選	始めに来たるもの	宮原一美	高山市
入選	諸行無常	亀谷隆明	関市
入選	amabile	高木美智子	中津川市
入選	バラの咲く頃	安藤茉里	各務原市
入選	合歓	川田美恵子	各務原市
入選	五月の徳沢	山上朱實	各務原市
入選	紅葉	野津藤一	瑞穂市
入選	黎明	水野壽子	瑞穂市
入選	裏見の臥龍桜	田端貞満	飛騨市
入選	朝霧の中で	尾藤日出子	郡上市
入選	わたり	浅井新太	下呂市
入選	涼宙	颯白	下呂市
入選	明鏡止水	木村敦子	笠松町
入選	咲光映	川地三好	垂井町
入選	梅花藻（地蔵川）	古川幸代	垂井町
入選	雨がやんだ	前田さやか	東京都
入選	まわる。まわる。	青藍蒼	愛知県
入選	みなもとへ	小林実沙紀	愛知県
入選	ダリア	髙木俊一	愛知県
入選	夜半の夏	水野充貴	愛知県
入選	ことばいづる処Ⅱ	たちおか帽子	三重県

洋　画

入選作品は、笠井先生と共に検討を重ねながら選出させていただきました。集まった作品はバラエティに富んでおり、それぞれが自らの表現を突き詰めて制作している様子が、画面を通じて伝わってきました。選ばれた作品は、どれも力作だったと思います。

ぎふ美術展賞の林直樹氏の作品は、明暗のバランスが心地よく、モチーフをリズムよく配置することによって、上手く画面を構成していました。優秀賞の鈴木昌義氏の作品は、画面を小気味よく分割し、白黒と赤を効果的に配することによって、非言語的な人間の感情を表しているように感じられました。奨励賞の納義純氏の作品は、ノスタルジックな雰囲気と幻想性に魅力を感じました。

応募者全体のレベルは高く、誰が入選してもおかしくない状況でした。惜しくも選外となってしまった作品にも佳作は多数あったので、結果にかかわらずこれからも継続して挑戦してほしいと思います。

最後に、ぎふ美術展の発展によって、創作する喜びが多くの方に伝わることを心から願っております。まだしばらくは辛い日々が続きそうですが、お互いに頑張っていきましょう。

洋画家・武蔵野美術大学名誉教授・二紀会理事　**遠藤　彰子**

今展に際して初めて審査に参加させていただきました。選考に当たっては絵造りの基本的な力量と発想や表現力等も含めてすすめさせていただきました。

ぎふ美術展賞の「静物（テーブルの上）」（林直樹さん）は身辺にある器具を日常の目線で捉えながら緊密な画面構成の中に確りした表現力が評価されました。

優秀賞の「鉄の街」（鈴木昌義さん）は対象の抽象化を極限まですすめ、平面的な画面の構成と赤と黒の効果的な働きが目に留まりました。

他にも様々な主題の多様な表現による数々の作品が見られました。

洋画家・愛知県立芸術大学名誉教授・立軌会同人　**笠井　誠一**

ぎふ美術展賞	静物（テーブルの上）	林直樹	岐阜市
優秀賞	鉄の街	鈴木昌義	中津川市
優秀賞	郷愁	須藤信利	瑞浪市
奨励賞	満開淡墨桜	川島淳二	岐阜市
奨励賞	雨上がりの岩畳	関谷文子	岐阜市
奨励賞	あっ。飛行機。	尾田千里	可児市
奨励賞	少年記	納義純	神奈川県
入選	マチのカタチ　2021	安藤孝信	岐阜市
入選	中空の瞑想	今尾さち子	岐阜市
入選	したたかな実	大塚佳美	岐阜市
入選	5つの山	大西達也	岐阜市
入選	糧	押味忠志	岐阜市
入選	凝固	小森啓子	岐阜市
入選	青！がんばれ	酒井久栄	岐阜市
入選	あまい叢	桜木須々美	岐阜市
入選	石積み	佐藤正己	岐阜市
入選	OSANPO	杉浦佑治	岐阜市
入選	丑三つ時のファンタジー	竹内美代子	岐阜市
入選	蟻は死の象徴	龍田歩奈	岐阜市
入選	西馬音内盆踊り	中村康子	岐阜市
入選	堤外の小径	林京子	岐阜市
入選	回遊	横山亜里紗	岐阜市
入選	何時かどこかで	脇田忠博	岐阜市
入選	妻とリリーとレオと僕	井上慎介	大垣市
入選	三つ子の魂百まで	久世久子	大垣市
入選	ひまわり	髙田鈴代	大垣市
入選	世界と肩を並べた破壊力ある突破攻撃	谷口拓司	大垣市
入選	ウザい奴を黙らせるためのメソッド	平墳雅弘	大垣市
入選	覚醒の髑髏	山路徹	大垣市
入選	感染の瞬間	小澤昌樹	多治見市
入選	願い－終息－	足立義一	関市
入選	環	池田明	関市
入選	気に成る椅子	馬渕あき美	関市
入選	狙う	村瀬彩香	関市
入選	臼沢鹿子踊	森正俊	関市
入選	Maya Deren	山崎信子	関市
入選	太陽の恵み	山下恵美子	関市
入選	碧水奏	安部成信	中津川市
入選	明日来る夢	天野るみ子	中津川市
入選	トルネードⅡ	上田さよ	中津川市
入選	刻の形象	牛越諒	中津川市
入選	記憶の形	可知則雄	中津川市
入選	明日への鼓動	斉藤みえ子	中津川市
入選	散策・外観・両親の?・答え	西尾香純	中津川市
入選	流麗Ⅱ	市原奨太郎	美濃市
入選	家族　6年・4年・2年	小川明	美濃市
入選	花祭り	大脇明	瑞浪市
入選	無我無心	紫乃～murasakino～	恵那市

入選	平和求めて（コロナ禍）	今瀬昭代	美濃加茂市
入選	相対的な世界と解放	不破十菜生	土岐市
入選	ハツユキカズラ	安田暁史	土岐市
入選	秋の夜長	阿部芳久	各務原市
入選	早朝の狩り	河嵜緑子	各務原市
入選	ふたつの蔵	酒井勝正	各務原市
入選	目下の紅葉	佐藤捷年	各務原市
入選	戻ってこいよ！	島谷三千男	各務原市
入選	のぼるひと	松村ふさ子	各務原市
入選	気色	山田和子	各務原市
入選	永保寺の秋	相沢陽一	可児市
入選	私たちはどうすれば良いですか?	TAMURA PATRICIA	可児市
入選	インド人街の街角	辻文明	可児市
入選	にゃんともはや	洞田智子	可児市
入選	「ごくろうさん」	野村久一	瑞穂市
入選	家路の空似	はるな	瑞穂市
入選	…の領域	山本直司	瑞穂市
入選	ケモの見た夢	安藤優花	本巣市
入選	巨木の生命力	川島鋭政	本巣市
入選	山紫尾花	野々山富子	本巣市
入選	冬を越す野菜	山内敏子	郡上市
入選	世界遺産の平安の祈り	田中泰彦	海津市
入選	うまれる うまれる こどもの日	伊藤泰志	養老町
入選	変化するコンビナートの夕景	中島邦彦	養老町
入選	樹魂	片岡重保	垂井町
入選	これから二人	髙木昭子	垂井町
入選	2本の桜の木がある風景	内藤知之	垂井町
入選	落葉の景	鹿野富子	神戸町
入選	カナダの街角	髙橋祥泰	池田町
入選	恵那山パラダイス	中島和重	東白川村
入選	気仙沼の復興	浮橋美頭	富山県
入選	空に穿ち 香を放つ	あらかわ佳子	愛知県
入選	琳派－印象－	榎本喜保	愛知県
入選	頂きの塔	大口良介	愛知県
入選	ほっと、一息	小倉照江	愛知県
入選	記念日	小玉君子	愛知県
入選	風	島田加寿子	愛知県
入選	ともだち	朱紫紅	愛知県
入選	スタンバイよし	杉田泰昌	愛知県
入選	シューマン Allegro vivace 作品102	鈴木孝治	愛知県
入選	宇宙の詩	細江波瑠	愛知県
入選	雨の駅前通り	宮地恭子	愛知県
入選	夢の続き	よしだまさこ	愛知県
入選	小さなロマンス	濵口友紀奈	三重県
入選	木霊	岡嶋康子	滋賀県

彫　刻

彫刻部門の応募点数は多くはなかったが、それぞれに独創的なアイデア＝発想で自由にのびのび作られているのが良かった。技術的な問題に触れるとあれこれ難はあると思うが、大事なことは、何を表現したいのか、何をつくりたいのかが率直に伝わってくるかどうかである。この度の審査で最も注視されたのはそういったところだったように思う。

とりわけ上位三名の方の受賞作品については、自身の思いを迷うことなく表現しようとした熱意が見えてくるものであった。思いの深さとそのまっすぐな姿勢が、結果としてユニークな造形を生み出したとも云える。ちなみに三名の受賞者は共に六十代、七十代の年齢を数える若くはない方々である。表現者にとって年の数は無縁とはいえ、そうしたものを一切感じさせない純なエネルギーの放出と凝結に、いわゆるモノづくりの魅力を素直に感じる。

美術評論家・多摩美術大学客員教授　**武田　厚**

今、現在、彫刻表現としてのカテゴリーやその考え方も随分と変化している。素材や形の問題を逸脱し、あるいは、思考性を持ち拡張しながら、ますます多様な様相を示している。そんな思いを感じながら、ぎふ美術展の彫刻部門の審査会場を訪れた。

作品は専門性の高いもの、技術云々より造形性を楽しんでいるもの、趣味性の高いものなど、様々なベクトルを持った作品が混在している。一つ一つ見ていくと、これらを審査するのは正直難しいと思った。何故ならば、個々の作品に作者のリアリティが内包されている。表現は先ずはリアリティを感じる事でしか成り立たないからだ。そう言った意味では全ての作品に実感がこもっている。

そんな中、ヒサオ・カメヤマさんの「ファンタジー」、樋口勝彦さんの「生命（いのち）の源流」、石田昇さんの「故郷～岐阜～」などが強く印象に残った。

特に、ある作品は、作者ご自身が息子さんの死に直面したことが作品を作る動機になったとお聞きした。その作品は地元の檜材による、地面からうにょうにょと発芽し、女性的な身体を纏って上昇する様な形であった。

彫刻家・武蔵野美術大学特任教授　**三沢　厚彦**

ぎふ美術展賞	ファンタジー	ヒサオ・カメヤマ	関市
優秀賞	生命（いのち）の源流	樋口勝彦	岐阜市
優秀賞	故郷～岐阜～	石田昇	恵那市
奨励賞	ゆらぐ大地	安藤治	岐阜市
奨励賞	石化する流れ	清水朋文	大垣市
奨励賞	水運木	稲垣保幸	多治見市
奨励賞	慈	伊藤敦	愛知県
入選	f l o a t	坪田立江	岐阜市
入選	怨情 <ENJYO>	篠田和幸	大垣市
入選	人間	村瀬恭平	高山市
入選	鵜と鮎	山田峰司	羽島市
入選	迷宮２０２１	菅原光則	山県市
入選	きっと・・・どこか・・・	井之口祐子	飛騨市
入選	命	竹林正治	飛騨市
入選	風神・雷神	岩幸	北方町
入選	ねがい	岩月創平	愛知県
入選	〝ほっ〟	小倉義夫	愛知県
入選	十三支	萌黄緑	愛知県
入選	宮城野	八木君枝	愛知県
入選	熱の質量Ⅱ	川上正昭	滋賀県
入選	わかれみち	安川みき	福岡県

工　芸

1000点近い出品作を前にして、7つの部門の幅広さに改めてこの美術展の奥行きを感じた。

工芸部門も同様に工芸の「枠」を考えさせられる作品群で工芸的な陶芸を生業にしている私にとって実に楽しい出品作群です。全体を拝見しどう捉えるか先ずはそこから入らなければならず、暫くは立ち止まってしまった。予想以上に出品者は工芸の視野を広く捉えているからである。それは彫刻?それは自由表現?…中々難しい判断を迫られた。

工芸は「用」というゴールをも想い描いてはいるが、色々な「ヨウ」を思わせた。出品作は技術や知識よりも想いや欲望、意思の強さが表れている。この度、ぎふ美術展賞に選ばれた陶で製作された浅野孝之さんの「食事中の転寝」は技術的完成度よりもその思想的な感性が自由に表現されている。岐阜県民主体ではあるが、芸術祭に相応しい一点です。

陶芸家　**隠﨑　隆一**

工芸部門での応募作品は89点、前回を上回る数であった。作品は多様性に富んだ内容で、改めて工芸とは何かという基本的な問題について視点を定めてみる必要があった。そして工芸分野の特性ともいえる染色、漆工、木工、和紙等は地域（岐阜）を語り得るものでもあるが、その類の作品に接することが殆どできなかった一抹のさびしさを感じた。

そんな中でぎふ美術展賞「食事中の転寝」は豊かな構想力を基に生まれた作品といえよう。全体に素直、特別な技巧を見ることは少ないが、ヒビの入った器の脆弱性が美の対象になり得ることを意識したところに特色がある。工芸に楽しさ、面白さを導入した作行である。

優秀賞の2点、「纏う」は丹念で繊細さが持味、造形力を発揮している。「池の中」は、水中生物を美しい表現力で覆い、豊かな心の包容力を感ずる作品である。

そして、今後の制作に向けて期待感のあるものを奨励賞とした。

文化財学者・前九州国立博物館長　**三輪　嘉六**

ぎふ美術展賞	食事中の転寝	浅野孝之	各務原市
優秀賞	池の中	大西達也	岐阜市
優秀賞	纏う	大野裕之	岐阜市
奨励賞	鉄錆のバラ	赤石幸夫	岐阜市
奨励賞	午後のまどろみ	馬渕規子	岐阜市
奨励賞	躍動	川村晶吾	高山市
奨励賞	静かなる刻	足立義一	関市
入選	composition	加藤文太郎	岐阜市
入選	灰砂盌	坪井琢郎	岐阜市
入選	六角厨子	広江保水	岐阜市
入選	光	藤岡里乃	岐阜市
入選	うららか	加藤敏一	大垣市
入選	海底の魅惑	古田則子	大垣市
入選	紅葉に映える白川郷	都竹勝子	高山市
入選	せいくらべ	柴田満	多治見市
入選	透磁丸皿	田中陽子	多治見市
入選	夏碗	土岐和幸	多治見市
入選	未確認奇怪生物	春田広樹	多治見市
入選	未来	田川裕之	多治見市
入選	Thorns	横井玲耶	多治見市
入選	織部幾何紋花器	後藤宮次	関市
入選	氷上の舞	市川公平	中津川市
入選	辰砂釉大皿	水野東三	瑞浪市
入選	騎鳳弁天	林学	土岐市
入選	想い	飯野克子	各務原市
入選	我家の孫	加藤洋子	各務原市
入選	灯籠桜2021	渡邉誠	各務原市
入選	手描き黒地金彩紋更紗	馬場澄子	可児市
入選	フクロウの兄弟	古田桂子	可児市
入選	（切絵）盛夏	打田紀久雄	山県市
入選	彩	後藤恵子	飛騨市
入選	潮騒	渡邉正康	飛騨市
入選	古くて新しい遊び・呼継	英次郎	本巣市
入選	好奇心	T.てつじ	本巣市
入選	うつわ	林正次	神戸町
入選	Melting	YU CHIA PING	石川県
入選	Rebirth（転生）	斎藤知子	長野県
入選	結晶釉大皿	本間友幸	長野県
入選	FLOAT	遠藤愼太郎	愛知県
入選	多様性と柔軟性	岡澤律子	愛知県
入選	自然釉水盤	影山公人	愛知県
入選	デニム風デザイン	菅原信子	愛知県
入選	六角重　秋真盛	玉方輝	愛知県
入選	折りの形	伯耆政和	愛知県
入選	一條大蔵譚	八木君枝	愛知県
入選	濃彩斜陶	山本昌弘	滋賀県
入選	天目黒水壺	林田七海	兵庫県

書

第3回となるぎふ美術展は相当レベルが高いと伺っておりましたので、大変楽しみにして審査に臨みました。

漢字、かな、篆刻、調和体と実にバラエティーに富んでいる中で、特に漢字作品は古典に立脚した造形と力強く洗練された線情の豊かなものが数多くありました。

かな作品も、中細字作品を中心に、かなの美的要素の一つである“遊絲連綿”と言われる連綿線を効果的に生かした魅力的なものが目に止まりました。

ぎふ美術展賞の上籠鈍牛さんの「蟹眼」は金文ですばらしく力強い筆力で表現され、特に白（余白）が実に美しく、白と黒の芸術の極致を思わせ、最高賞にふさわしい傑作でした。

優秀賞、奨励賞は、それぞれに練度の高い秀作を選出しました。

これからも古典古筆を拠り所とし、普遍的な書美を追求しながら、より個性豊かな作品が数多く寄せられることを期待しています。

書家・日本芸術院会員・日展副理事長　**黒田　賢一**

漢字・仮名・調和体・篆刻など各分野にわたる作品は、古典に根差したものから、現代感覚を盛り込んだものまで、いずれも表現の幅が広く、全体を通して充実した内容となっていました。審査にあたっては、書体や書風に偏ることなく、それぞれの作品の持ち味を楽しみながら評価させていただきました。

ぎふ美術展賞・上籠氏は、古代文字に現代感覚を盛り込み、潤渇の対比から落款印章にいたるまで、大胆さの中にも細やかな神経が行き届き見事。優秀賞・三間氏は、重厚な線質と凛然とした書きぶりが味わい深く、日頃の弛まぬ修練がしのばれます。奨励賞・石田氏は、独特な用筆と清新な造形が実に美しく、響きの高い作風となっています。

惜しくも選外となった作品の中にも秀作が多く、特に小中学生の応募にはキラリと光る作品が少なからず見うけられました。今後の活躍を期待します。

東京国立博物館副館長　**富田　淳**

ぎふ美術展賞	蟹眼	上籠鈍牛	東京都
優秀賞	山家集抄	青山法舟	岐阜市
優秀賞	王恭詩	三間恵翠	北方町
奨励賞	夜坐懐石林茶谷二上人	永田彩乃	岐阜市
奨励賞	堀口大學の詩	安田朴童	岐阜市
奨励賞	ほのぼのと	石田昌枝	各務原市
奨励賞	鞠躬盡瘁	杉﨑佳秀	各務原市
入選	寶墨	浅野修竹	岐阜市
入選	王文治詩	居上紅澪	岐阜市
入選	過香積寺（王維）	井上弥紀	岐阜市
入選	秋	岩田香翠	岐阜市
入選	王漁洋詩	後藤紅葩	岐阜市
入選	鳩巣詩	後藤黎瑤	岐阜市
入選	実朝の歌	清水青蘭	岐阜市
入選	清爽	杉村蓮里	岐阜市
入選	葉錦詩	戸田美祥	岐阜市
入選	舒位詩	花井蘭徑	岐阜市
入選	陳万言詩	古田清流	岐阜市
入選	春日諸子と同じく郊行す	吉田祥山	岐阜市
入選	宿詵公房曉起偶成	大石窓雪	大垣市
入選	寒山詩	奥田長春	大垣市
入選	江馬細香詩	堤薫風	大垣市
入選	龍驤	本寒山	大垣市
入選	一點素心	中野秋石	高山市
入選	陶淵明詩「飲酒」	浅野春泉	関市
入選	陳陶詩	内田翠径	関市
入選	王右軍	岩崎白峯	美濃加茂市
入選	姚氏詩	今田紅渓	各務原市
入選	呉錫麒詩	加藤艸舟	各務原市
入選	朱存理詩	北澤素心	各務原市
入選	中原中也詩	長屋天虹	各務原市
入選	周述詩	林華香	各務原市
入選	于謙詩	林春翠	各務原市
入選	わたのはら	三門美佐子	山県市
入選	百人一首八首	吉井美代子	山県市
入選	擬古	鈴木瑤樹	瑞穂市
入選	王維詩	関谷蒼玄	瑞穂市
入選	鳥	大野愛玉	本巣市
入選	劉基詩	成瀬雪嶺	本巣市
入選	杜審言詩	森本夏渓	本巣市
入選	秋風に	加藤玉華	郡上市
入選	白居易詩	中島千里	下呂市
入選	朝倉房子の句	中島千寿	海津市
入選	篆書七言聯	櫛田征宏	岐南町
入選	陳汝言詩	長屋純子	笠松町
入選	郎士元詩	高井敦史	垂井町
入選	杜甫詩	溝口彩風	垂井町
入選	よしのや万	髙橋翠葉	神戸町

入	選	杜甫詩	牛田春煌	安八町
入	選	杜甫詩	山田香遙	揖斐川町
入	選	虞謙の詩	東山栄華	大野町
入	選	和歌二首	勝野　翠	池田町
入	選	山家集より十二首	古山玉扇	御嵩町
入	選	散氏盤一節	青山卿雲	埼玉県
入	選	王安石の詩	葵　沙	埼玉県
入	選	中極殿召對作	小林心華	埼玉県
入	選	融通無礙	樋口大振	千葉県
入	選	杜甫詩	和泉滴翠	東京都
入	選	粋	一　煌	東京都
入	選	千字文一節	岩田幽雅	東京都
入	選	詩経秦風・小戎	小杉青陽	東京都
入	選	臨張猛龍碑	土肥青氷	東京都
入	選	張九齢詩	中村喬華	東京都
入	選	臨石鼓文	山田明燦	東京都
入	選	飛	田平雄飛	静岡県
入	選	春の景色	上野明美	愛知県
入	選	小夜ふけて	小川　智	愛知県
入	選	うぐひす	川本俊子	愛知県
入	選	五月雨の	馬場景子	愛知県

GIFU ART EXHIBITION

写　真

第3回ぎふ美術展の写真部門には、第1回作品数209点、第2回作品数219点を超える233点の応募があった。応募作品はいずれもレベルが高く、内容も祭りから動物までヴァリエーションに富み、充実した審査にあたることができた。今回はコロナ時代を反映する作品が多いのではと想定していたが、ぎふ美術展賞の「上り･一番列車」や優秀賞の「アクアリウム」など自然の厳しさや季節の繊細な美しさを湛える作品が目についた。また奨励賞の「夕暮の狩り（キツネ）」や「氷点下の朝」など、日々の何気ない光景の中の偶発性を捉える写真も印象的だった。デジタル写真からも優秀賞に老いの多様性を感じさせる「人生100年時代」が選ばれた。デジタル時代になり、写真の記録性も大きく変わろうとしてはいても、生活や風土、記憶や経験に根差した写真の試みがこの岐阜の地に息づいていることを実感させる有意義な審査となった。

美術史家･東京藝術大学名誉教授　**伊藤　俊治**

ぎふ美術展賞の「上り･一番列車」は、早朝の厳しい雪の中を走る列車のヘッドライトが情緒的で、さらに車内の2人が、この線路や停車する駅の事までも想像させます。

優秀賞の「アクアリウム」は、雪が凍るプロセスを非常にデリケートな目で見つめて、丁寧に美しく転換しているところに惹かれました。

同じく優秀賞の「人生100年時代」は、こちらに向かってくる電動車椅子の高齢者が凛としている事と、手を取り合ってゆっくり向こうへ歩いて行く2人の姿が、様々な生き方を見せてくれます。

「夕暮の狩り（キツネ）」では、撮影者が一瞬キツネと共犯になっているような緊張感が魅力的でした。

真っ直ぐ被写体に向かい、良い瞬間を撮るというシンプルな写真に背筋が伸びました。

写真家　**野村　佐紀子**

ぎふ美術展賞	上り・一番列車	太田育伸	富加町
優秀賞	人生100年時代	蒔苗友紀	大垣市
優秀賞	アクアリウム	岩田真津美	各務原市
奨励賞	氷点下の朝	田守真知子	飛騨市
奨励賞	夕暮の狩り（キツネ）	渡部与明	愛知県
入選	ギョギョッ	伊藤美代子	岐阜市
入選	爆風	岩田　巌	岐阜市
入選	共生の森	杉山省治	岐阜市
入選	ニャにかご用かニャ?	田中友梨	岐阜市
入選	争奪	棚瀬静雄	岐阜市
入選	書道パフォーマンス	戸﨑夏妃	岐阜市
入選	お口でアッピール	長野　勝	岐阜市
入選	ざわめく木霊	本間かよ	岐阜市
入選	冬紋	松野幹郎	岐阜市
入選	スプラッシュ	三浦沙月	岐阜市
入選	ノンちゃん	山口義文	岐阜市
入選	スーパーへ	大久保金行	大垣市
入選	コロナ消滅祈願	大橋浩美	大垣市
入選	朝靄の中で	河合　明	大垣市
入選	挑戦	桒原権一	大垣市
入選	サン・ライズ	髙木俊満	大垣市
入選	つまご宿	林　孝弘	大垣市
入選	滝の音色	日比野喜一	大垣市
入選	春うらら	松井一枝	大垣市
入選	夕まずめの瀬張り漁	水谷博光	大垣市
入選	伝統行事（舞込み）	牛丸昭夫	高山市
入選	八重菊の祈り	小島　武	高山市
入選	群氷	坪内義彦	高山市
入選	春を呑む	直井隆義	高山市
入選	雪華沿線	原田尚幸	高山市
入選	白夜	松山　昇	高山市
入選	生誕2ヶ月の眼差し	代情岑郎	高山市
入選	お疲れさま	浅野　健	多治見市
入選	日常が待っている	小池克憲	多治見市
入選	かぐや姫の小径	廣田昭男	関　市
入選	白昼夢	因幡純一	美濃加茂市
入選	盛夏	大野智幸	各務原市
入選	活	川島昭良	各務原市
入選	宇宙旅行	河田祐次	各務原市
入選	ペアの飛翔	管野富春	各務原市
入選	Fall in Love	渡邉道雄	各務原市
入選	植樹	鈴村龍祐	可児市
入選	恩師	原　美由紀	可児市
入選	エレガント	植埜勇夫	飛騨市
入選	鎮魂の湖	尾内治良	飛騨市
入選	秋霜	重山照夫	飛騨市
入選	お祈り	尾藤榮子	郡上市
入選	けあらしの日	古田雅久	郡上市
入選	コロナ禍の介護	福谷昌己	下呂市
入選	飛翔	成瀬憲司	岐南町
入選	光射す	吉田由香	岐南町
入選	静寂	伊藤日出子	養老町
入選	大寒の朝	草野次雄	養老町
入選	水辺のハンター	北嶋敏和	垂井町
入選	越前海岸の夕暮れ	冨田佳信	垂井町
入選	惜春	末松正弘	揖斐川町
入選	湖北の冬	谷　泰宏	大野町
入選	静寂閑雅	増田敏明	大野町
入選	反映	髙橋二三夫	池田町
入選	Dancing Water －踊る水－	井出祥子	神奈川県
入選	海の踊り子	丸尾　奨	神奈川県
入選	光の呼吸	加藤大貴	愛知県
入選	神秘の日の入り	高木康行	愛知県
入選	海を眺めて	新藤由貴	三重県
入選	Light of Life	松尾真由美	香川県
入選	#ケノハレ　#坂出の猫	山田晋司	香川県

自由表現

自由表現というセクションだからか自分の作っている作品がはたしてどのカテゴリーなのかを迷っているものが多く見受けられました。技法の熟練という方向性ももちろん美術のひとつの方法だと思いますが、自分のやりたいことを目の前に実現してみることがまず大事で、その時そのやり方が唯一の方法であるならば説得力もでてきます。北川ひとみさんの「あいにきたよ」は、樹脂粘土を使って半立体の動物や植物が画面を飛びだすような広がりをもって表現される―まさに絵画ではできない表現です。一方、技法的には絵画と同じかも知れないが、その平面性においてイラストレーション的側面を持つ作品も多く見うけられた。絵画の持つ三次元的なイリュージョンとは違う点においてこのセクションを選んだのだと思われます。象徴性や時代性を色濃くとどめることにもつながり、時代と直結する新しい視点を得られたと思われます。その意味でこの“どこにも属さない”セクションは意義深いと思います。

小山登美夫ギャラリー代表　**小山　登美夫**

自由表現とは何か。自由は難しい。私がこの公募に出すとしたら。

自分の好きな事を突きつめる先が自由を知る糸口かもしれないと作品を見ながら思い始めた。

ぎふ美術展賞の「あいにきたよ」は余りの根の詰めかたに驚いた。始め花は造花と見誤ったほど精密で、麒麟の造形は沢山の色鉛筆で描かれた様に見えるが1本一本が違う色の粘土を丸めて作られている。それによって柔らかい質感が作品の魅力につながっている。

「ONE LINE ART･ふたつのメロン」もよく見ると1本の緻密な線がつながって描かれている。それをゴールドのメロンのヘタが結んでいる。

自由とは自由にどこまでこだわるかが答えなのか。

「回転するYO-YOを並べる」の作品はそれとは逆の軽さ。まるで蝶の様に飛びそうだ。ラフに切られ塗られた様に見せながら表現の答えはたった一つ。

賞に選ばれた作品には不必要なものがない。

最後に選んだ「今日の食卓（春）」は既製品の台を外して完成した。

コスチュームアーティスト　**ひびの　こづえ**

ぎふ美術展賞	あいにきたよ	北川ひとみ	岐阜市
優秀賞	ランダムアート	中村龍美	山県市
優秀賞	ONE LINE ART･ふたつのメロン	曽良貞義	下呂市
奨励賞	回転するYO-YOを並べる	若尾武幸	岐阜市
奨励賞	街	松葉詩織	中津川市
奨励賞	ひょうたんザウルス～思いをぶちかませ～	ケンジ	可児市
奨励賞	今日の食卓（春）	早川美香	愛知県
入選	石庭	井戸義智	岐阜市
入選	ラクシュミー	奥田記子	岐阜市
入選	ファンネルフラワー	北川貞子	岐阜市
入選	家族	佐伯美千代	岐阜市
入選	光の中で	田藤哲也	岐阜市
入選	イモムシ増殖	帆足勇一郎	大垣市
入選	流転する先へ	可知井英敬	多治見市
入選	おとうさん	児山小枝	多治見市
入選	物思い	児山睦	多治見市
入選	PEACE	森彩未	中津川市
入選	薄美濃　弐進法	空桜	美濃市
入選	聖獣	安藤英治	瑞浪市
入選	鐐鬼8	横関空悟	美濃加茂市
入選	わたしはいない	伊佐治孝文	土岐市
入選	Era eltte		土岐市
入選	トマトありけり	さとうくみ子	可児市
入選	Spherical life form floating in space	二代目ほろ丸	可児市
入選	胸懐～cocoon～	古田直文	山県市
入選	I'm alone but not lonely.	吉川悠希	瑞穂市
入選	森の水車	渡邉正康	飛騨市
入選	空へ	T.てつじ	本巣市
入選	わた絵「主人を想う」	堀田きよみ	本巣市
入選	MiXSUN	Masashi Ueda	郡上市
入選	MINO	村山恭子	池田町
入選	KIRI2021	石原康臣	東京都
入選	Lyric Movie №37	Bloom9	東京都
入選	幼虫たちがウヨウヨしちゃってる	カミジョウミカ	長野県
入選	ネガイゴト☆ママゴト	内山千聡	愛知県
入選	わすれてあげない！	鹿村香名	愛知県
入選	はなれていてもいっしょ	野瀬昌鷹	愛知県
入選	山笑い、海煌めき、川清らかにして、空高し	縹瑠璃	愛知県

第3回ぎふ美術展 審査結果

	日本画	洋画	彫刻	工芸	書	写真	自由表現	合計
応募点数	73	229	30	89	219	233	118	991
ぎふ美術展賞	1	1	1	1	1	1	1	7
優秀賞	2	2	2	2	2	2	2	14
奨励賞	4	4	4	4	4	2	4	26
入選	30	86	14	40	62	61	31	324
入賞・入選	37	93	21	47	69	66	38	371

うまれる。あふれだす。